

◎運営委員の働く場から◎  
小さくされた人々と共に

マイノリティ宣教センター運営委員/KCC 館長 **申容燮**  
しん よん そぶ

「日本で在日コリアンが一番多く住んでいる地域」と呼ばれる大阪生野で人権活動を 50 年以上続けている「在日韓国基督教教会館(以下 KCC)」の館長を勤めております、申容燮(シンヨンソプ)です。韓国生まれで 2012 年に渡日。KCC には 2016 年から在籍し、今年 1 月から館長に就任しました。KCC は在日大韓基督教の傘下機関ですが、外国人入権問題、URM 等の労働関連問題、マイノリティ関連活動を宗教、人種、性別等と関係なく色んな団体、組織、活動団体と協力して活動しています。

人権運動をする団体は外国人専門、労働関係専門など専門分野として活動されることが普通ですが、KCC では、「小さくされた人々と共にする。寄り添う」をモットーに、呼びかけがあれば、どんな問題・課題であっても一緒に活動をするようにしています。

KCC は全国の小中高校生たちが、近くの 코리아タウンを見学、KCC でキムチ作り、韓国の伝統的遊び(ノリ)体験をする学びの場でもあります。「キムチ臭い」と言いながらも自分が作ったキムチを持って帰ります。知らなかったことを知り経験することで、子どもたちの視野が広くなり、他者

を受け入れることに発展することを期待しています。小さくされ、存在も知らなかったといわれるマイノリティと共に、同じ人間としてこの日本で幸せに暮らすことができる日まで、KCC、そして私は、頑張りたいと思います。

お知らせ

●マイノリティユースフォーラム

2025 年 2 月末に予定しているマイノリティ・ユース・フォーラムの告知をリリースしました。正式な申込募集は今後、ホームページ、SNS などで告知します。

またユース・フォーラムへの特別献金も受け付けています。(詳しくは別紙告知を参照ください。参加のお問合せを受け付けています)。お問合せ s.watanabe@cmim.jp (共同主事渡邊) まで。

●ノー！レイシズム！ひろば(国際人種差別撤廃デー合同集会)

来年の国際人種差別撤廃デー(3月21日)に向けて、「ノー！レイシズム！ひろば」を開催します。各キリスト教会、団体からの出演を募集します。

日時：2025 年 3 月 8 日(土) 午後 3 時 開演(午後 2 時半開場)

場所：聖アンデレ教会 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-6-18

出演者大募集中

教会の聖歌隊、バンド、保育園、幼稚園、学校、サークルなどなどから、必ず 2 人以上のグループでエントリーください。

12 月末までエントリーを受け付けます。歌、ダンス、合奏、etc. 2 人以上のグループでの参加をお願いします。

1 グループ 6 分以内(説明や紹介含)。対面で実施できないところは動画を 2 月末までに送ってください。

# noracism # 人権 # 平和 # 国際人種差別撤廃デー に関するパフォーマンスとします。

●マイノリティ・リーディングサークル

マイノリティをめぐる読書会をスタートしています。参加者がおすすめの本を分かち合い、次回までにそのうちの 1 冊を読んできて、同じ本を読んだ人たちと思いを分かち合う月に 1 時間の草の根読書会です。

毎月 第 3 火曜日 午後 8 時～9 時 オンライン

※途中参加も可能ですので、ぜひエントリーください。参加お申し込みはこちらまで↓

info@cmim.jp マイノリティ宣教センター

マイノリティ宣教センターニュース 第 24 号

2024 年 10 月 1 日発行

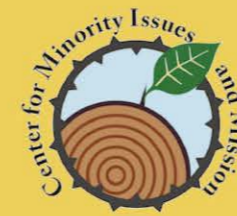
発行者：李省展

〒169-0051

東京都新宿区西早稲田 2-3-18 日本キリスト教会館 52 号室

TEL: 03-6228-0509 Email: info@cmim.jp

デザイン・レイアウト：峯田敏幸



CMIM NEWS

Center for Minority Issues and Mission

Spread the Tent of Inclusivity! 共生の天幕を掲げよう!

E-mail : info@cmim.jp URL : https://cmim.jp

マイノリティ宣教センターニュース

vol.24 2024 年 10 月

聖域に挑戦!

おおしま かおり

大嶋果織

NCC 総幹事

マイノリティ宣教センター 理事



古代史が苦手な、『古事記』や『日本書紀』にどう対応したらよいか分からないと弱音を吐いていたなら、友人が本を送ってくれました。一冊は、石渡信一郎『百済から渡来した応神天皇 騎馬民族王朝の成立』(三一書房、2001 年)、もう一冊は、林順司『日本古代史講座 天皇・アマテラス・エミシを語る』(えにし書房、2024 年)です。補助資料として、週刊誌記事も同封されていました。

その記事によると、石渡さんは「新旧二つの朝鮮渡来集団による日本古代国家の成立とアイヌ・蝦夷の起源」に取り組んだ在野の研究者で、上記の著書は「応神天皇は百済から渡来して活躍した王子である」ことを論証したものの。記事の執筆者でもある林さんは、石渡説が日本の考古学・史学界で黙殺されているのは、学界が「単一民族説と大和中心史観」から脱却できていないからだと考えて、研究を続けている方です。

記事のタイトルは「天皇が認めた朝鮮と皇室の深いつながり」(『週刊金曜日』2002 年 1 月 18 日(395 号))。2001 年 12 月、当時の天皇・明仁は誕生日前の記者会見で、日本と韓国のあいだには古くから交流があったと述べ、次のように発言しました。「私自身としては、桓武天皇の生母が百済の武寧王の子孫であると、続日本紀に記されていることに、韓国とのゆかりを感じています」。

この発言を受けて、林さんは石渡説を紹介し、古代天皇家の人々が加羅系そして百済系だったことを説明します。ちなみに、『続日本紀』には桓武天皇の生母について、「後の祖先は百済武寧王の子の純陀太子から出ている。皇太后は百済の遠祖津慕王の末裔である」とあるそうです。

それから 23 年。天皇家と朝鮮の深いかわり方は自由に追求できるようになったのでしょうか。いいえ、です。天皇陵は発掘調査を禁止されているからです。「どんな天皇が

埋葬されたのか明らかでない古墳(陵墓)に“足を踏み入れてもいけない”“調査もできない”というのでは日本古代史の解明は

お手上げです」と、林さんは近著で嘆いています。天皇家の起源は聖域であり、それを探るのはタブーなのです。

聖域化のために使われてきたのが、『古事記』と『日本書紀』(以下、『記紀』)です。これらは日本列島を作った神々が天皇の祖先であり、その血統は男系により万世一系で受け継がれ、歴代の天皇は民衆の幸せのために尽くしてきたことを皇統譜と共に伝える天皇教の聖典と言えるでしょう。しかし、別の方向から見れば、朝鮮渡来集団による政権成立という史実を隠し、不都合な事件はなかったことにし、必要に応じて架空の天皇の物語を創作して仕上げられた歴史改ざん文書なのです。林さんはそれを「歴史改作システム」という言葉で説明しています。

『記紀』は今年 4 月、文部科学省の教科書検定に合格した令和書籍『国史教科書』の中で積極的に使われています。「原始」と「古代」の章で、天皇中心の日本は他のどの国よりも優れているという皇国史観を導入するために、神話や伝説が多用されているのです。それに基づき、「中世」から「現代」に至るまでの歴史は自国礼賛で貫かれています。侵略戦争の反省などありません。むしろ、全て日本が正しく、他国が間違っているのです。\*

わたしはこの『国史教科書』を読み、差別や排除の根—聖域に挑戦しなければと思われました。また、古代史の分野で聖域に挑戦する人たちの存在を知り、たいへん励まされました。もちろん、キリスト者も自分たちの聖典への向き合い方を問われているのは間違いありません。

\* NCC 教育部 HP 掲載、抗議文「令和書籍『国史教科書』の検定合格に抗議し、撤回を求めます」を参照

マイノリティ宣教センター賛同会費  
2024 年度分納入で活動を支えてください

マイノリティ宣教センターは 2017 年、強まる在日コリアンへのヘイトスピーチへの抗いを、さまざまな形で生み出そうと活動することを求めて創設されたエキシメニカルなキリスト教団体です。「マイノリティとは『誰』なのか」という問いを立て、ちいさなであから生まれる変革にこだわり、「天幕を広げゆく」エキシメニカルな活動を練り上げていきます。

海外教会をはじめとして、熱い賛同と数多くの支援の意志が示され協働が実現してきました。マイノリティ宣教センターの活動を積極的に支援する会員となってくださいようお願いいたします。

すでに会員の皆様におきましては 2024 年度分の会費を入金いただきますようお願いいたします。

個人会員：年会費 一〇 3,000 円

団体会員：年会費 一〇 10,000 円

●ゆうちょ振替口座  
00160-6-487170 マイノリティ宣教

※ 他行からの場合は以下の通りです。  
●銀行名 ゆうちょ銀行(金融機関コード 9900)  
店番 019(〇一九)  
当座 口座番号 0487170  
マイノリティ宣教